



# インガラバー

NPO法人  
日本・ミャンマー  
医療人育成支援協会  
〒700-0811  
岡山県岡山市北区番町2丁目6番7号  
TEL:086-224-0102  
URL:http://www.mjcp.or.jp

## 手術支援やりがいあった

### 4日間に53件実施

岡山大学病院  
形成再建外科  
協会員 山田 潔

縫合処置をひたすら行っていた時の充実感を再び感じてみたい。そんな思いが最近募っていた。

岡山大学形成外科では、癌切除後の再建術が圧倒的に多く、同じ患者のさまざまな部位から必要な組織を採取し再建手術を行っている。大学病院という整った手術環境と最新の設備で複雑な治療を行う毎日だが、その一方で、シンプルで最大の効果が得られるような手術もやはり捨てない。新米医師の頃、単純そうに見えて奥が深い切開・



コミュニケーションを取りながら行った手術



現地スタッフと一緒に  
左端が筆者、中央が木股教授

活動の場は2006年に開院したネビドー総合病院。首都の1000床を有する最大の病院で、手術室は三つ。一部屋に手術台が二台あり並列で手術ができる。無影灯や麻酔器なども整っており、ハサミやピンセットなども一通り揃っているが、資金難のためメンテナンスは十分とはいえない。難がたい。年間に4500件超の手術が行われているが、外科・眼科の手術が圧倒的に多く、外傷で一番多いはずの整形外科や脳外科の手術は少なく、胸部・心臓手術がごく僅かという。

#### 慣れぬ環境に緊張

まず、現地のスタッフとチーム作りを行った。初日の午

前中は手術患者の選択であり、すでに50人を超える患者が集められていた。外傷性のひきつりや変形、顔面の先天性外表面異常や腫瘍が非常に多く、顔面神経麻痺や腕神経叢麻痺などの複雑な治療を要する者もいた。ヤンゴン総合病院からチームに加わった形成外科専門医のモウ医師、ウイン医師らと共に診察を行い、期間内に手術可能な患者をリストアップした。

イギリスやオーストラリアで培われたものである。初日は9例の手術をこなした。近くのレストランで夕食をとった。ミャンマービールが喉にしみた。ホテルに帰って翌日の手術について木股教授と確認した後は、どつと疲れが出て落ちるようになり就いた。

#### 若い医師たちは意欲的

2日目以降は徐々に周囲が見えるようになってきた。ミャンマーの患者は辛抱強い。一日待たされても気にして

いる様子はない。極論すると一生に一度ドクターに診てもらえるかどうかという人が大勢いるそうで、待ちくたびれて不平をこぼすよう

な状況ではないであろう。形成外科に興味のある若い医師達も院内外から集まってきた。間近で手術を見てもらいながら色々と情報交換をした。ミャンマーには形成外科専門医は5人しかおらず、その手術手技を見学する機会がないという。我々が滞在している間に形成外科の手術見学に来たい、僅かなチャンスも逃さず吸収したい。そんな熱い思いをひしと感じた。

の症例にベストな治療ができたかと問われると、残念ながら答えはNoである。日本で行うようなベストな治療は不可能なのだ。意欲のある若い医師達が手術見学に来てくれたのはうれしかったが、今後は形成外科のトレーニングプログラムの設定や学術集会の設立などを行い、形成外科医を育成するシステムが絶対に必要だ。ミャンマー国内には形成外科の需要が十分にあるので、うまく日本の医療を導入していくのが今後の課題である。

4日間のミッションで53件の手術を行った。どの症例も非常にやりがいがあった。その意味では冒頭に述べた、ひたすら手術して充実感を得ることは達成された。しかしながら、すべて

手始めに、この活動に賛同してくれる形成外科医と一緒に、次のミッションに臨みたいと考えている。

NPO法人「日本・ミャンマー医療人育成支援協会」の第五回総会が6月30日夕、岡山市北区のホテルで開かれました。

同日現在の会員数は三百七十一人です。新たに理事に就任した岡山大学大学院医歯薬学研究所(形成外科)の木股敬裕教授が

## 事業計画などを承認 6月30日に総会

進め、平成21年度の事業と決算についての報告、さらに22年度の事業計画案と予

算案がそれぞれ承認されました。22年度の事業計画では、ミャンマーから医師らを招いて研修したり、研究の支援を続けます。このほかミャンマーの医療技術の向上のための医師の派遣を予定しています。

の今後の医療技術の向上

# サイクロン被災地に 南川クリニック

贈呈式に参加して

岡山大学名誉教授

協会監事 武田和久



子供たちも集まって、にぎやかに贈呈式  
中央の白い服の女性が南川さん

私のミャンマー訪問は十数回に及びますが、今回は1年半ぶりのミャンマー行きでした。4月4日から8日まで。ミャンマーでの水かけ祭の直前ということもあってバンコック経由の飛行便が取れず、ハノイ経由で入ったので従来よりも早めの夕刻にヤンゴンに着きました。

東南の川岸のボートレックにあるサイクロンの被害を受けた地域の診療所に向けて、ジープ・タイプの車で出かけました。車で約四時間と聞いていましたが、市内を出るとがたがた道で、久しぶりに車での揺れを味わいました。途中、揺れはますますひどく、道路が悪いので、乾季で水のない道路脇の川を走りましたが、土煙で前の車がほとんど見えなくなるほどでした。人影もなく、こんな所の診療所に来る患者がいるのだろうかと思

しながら進むと、やがてかすかに一つのバゴダが見え、その近くの診療所に着きました。

◆ ◆ ◆  
新築の南川クリニックには多くの関係者が詰めかけ、協会の岡田茂理事長やミャンマー国立医学研究局のミヨウ・キン局長らの出席のもと、診療所の贈呈式が盛大に行われました。この診療所は岡山市在住の南川志津子さんが夫の遺志に基づいて寄贈されたもので、この地域の住民約四万人の診療に大きく寄与することは間違いないと見えます。集まってきた多くの子供たちの笑顔を見て意義ある贈呈だと実感しました。医療人育成支援を目的とする協会としても、現場の医療活動に繋がる支援ができることは有難いことです。

◆ ◆ ◆  
ヤウーまでの旅はボートで、まさかの時のため防水具を着けましたが、予想に反して静かそのものであり「優しい川」と呼ばれるカラダン川は海のように広く、しかも波一つ立たない美しい眺めの連続でした。

日本人でミヤウーの遺跡を見た者は少ないでしょう。派手ではないが豪華な遺跡が幾つもあり、沢山の塔の間に沈む夕日の眺めは格別でした。これらの古代寺院は管理が充分でなく、仏像が持ち去られた跡もあり、これから先が思いやられ「何とかならないものか」という気がしました。

ヤンゴンに帰るまでの道中は大変でした。来る時に乗ったヤンゴンからシットウエーまでの飛行機便が帰りは飛ばないとのこと、特別チャーターしたバスでまた揺られながらアン山脈を越え、寝るや寝ず、食うや食わずの38時間ぶつ通しの大変な旅でした。ヤンゴンにやっとたどりつき、無事帰りの国際線に間に合いましたが、大変思い出に残る旅となりました。

## 日本・ミャンマー医療人育成支援協会のための募金箱設置施設

募金箱を設置させて下さる施設を求めています  
連絡先：090-8998-1508 (担当 西山)

### 〈社会医療法人 光生病院〉

〒700-0985 岡山市北区厚生町3丁目8番35号  
TEL 086-222-6806 (代表)  
FAX 086-225-9506

■診療科目  
内科・呼吸器科・消化器科・循環器科  
泌尿器科・外科・整形外科・脳神経外科  
心臓血管外科・神経内科・形成外科・リハビリテーション科・放射線科



### 〈備前市立備前病院〉

〒705-8501 岡山県備前市伊部2245  
TEL 0869-64-3385

■診療科目  
内科・外科・整形外科・脳神経外科  
神経内科・婦人科・放射線科・皮膚科  
泌尿器科



### 〈光南台クリニック〉

〈光南台居宅介護支援事業所〉  
通所リハビリテーション(老人デイケア)

〒702-8012 岡山市南区北浦714  
TEL 086-267-2055  
FAX 086-267-1110

■診療科目  
内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科  
■往診/訪問看護  
各種予防接種・健康診断・相談・各種検診

### 〈介護老人保健施設 里仁苑〉

〒723-0051 広島県三原市宮浦6丁目16-17  
TEL (0848) 62-4411  
FAX (0848) 62-0230

### 〈あかね動物病院〉

〒720-0002 広島県福山市御幸町下岩成1144-3  
TEL (084) 955-0505  
FAX (084) 955-0909



### 〈さぬき麺庄 はま弥〉

〒762-0017  
香川県坂出市高屋町1473-3  
TEL 0877-47-3432



● ミンガラバー掲載広告を募集します。また広告主を探して掲載広告を集めてきてくれる方も募集します ●

## 本当の暮らしは？

去る6月19日、NHKのBSハイビジョン特集で「素顔のミャンマー ～暮らしに息づく仏教の心～」を見ました。ミャンマーの美しい自然風景や世界的な文化遺産の仏教寺院と数家族の生活の様子を密着取材したドキュメンタリー番組でした。ミャンマーの人々は農業・漁業で生計を立てた素朴な生活をしています。またあまり豊かでもない中、家族が助け合って暮らしています。敬虔な仏教徒で温厚な国民性です。しかし実際に行ってみれば人々の暮らしは、もっともっと貧しいものなのに、放送されたのはずいぶん恵まれた環境の家族のように感じました。そのことに違和感を感じてNHKのホームページをみたら、この映像は中国中央電視台とミャンマー国営放送の取材によって作られたものでした。このように人々は豊かに生き活きと暮らしているのだと政府によるプロパガンダだと分かりました。軍事政権で荒々しいばかりの報道も、またこのようなきれいな事の報道も、私にはミャンマーの全てではないと思えます。支援して下さる皆様方に真実のミャンマーを伝えなければならぬと痛感したのでした。  
(理事 西山 央子)

## 10/25~29の予定 ミャンマー旅行のお誘い

※詳細は TEL 086-246-1010  
西日本ツアーリスト(担当 宮崎まで) お問い合わせ下さい

さぬきにお越しの節は…

## さぬき麺庄 はま弥

ネットでも  
評判!!

かきあげぶっかけ

あぶり鯖寿司  
その他…

TEL 0877-47-3432

〒762-0017 香川県坂出市高屋町1473-3  
【定休日】月曜日 【営業時間】10:00~14:30

